

DWSのご紹介

実績と信頼、ドイツクオリティ。

1956年にアクティブの資産運用会社としてドイツで設立されたDWSは、運用の専門性をパッシブやオルタナティブを含む多様な資産クラスに広げ、現在は資産運用業界における最も認知度の高いブランドの一つとなっています。

本拠地ドイツでは、投資信託の残高でトップシェアを誇り、資産運用の専門家として高い評価を得ています。

DWSグループの日本拠点であるドイツェ・アセット・マネジメント株式会社は、グローバルな運用体制と独自の洞察力を駆使した質の高いサービスをご提供するとともに、お客様に寄り添った運用、サービスを常に心がけています。

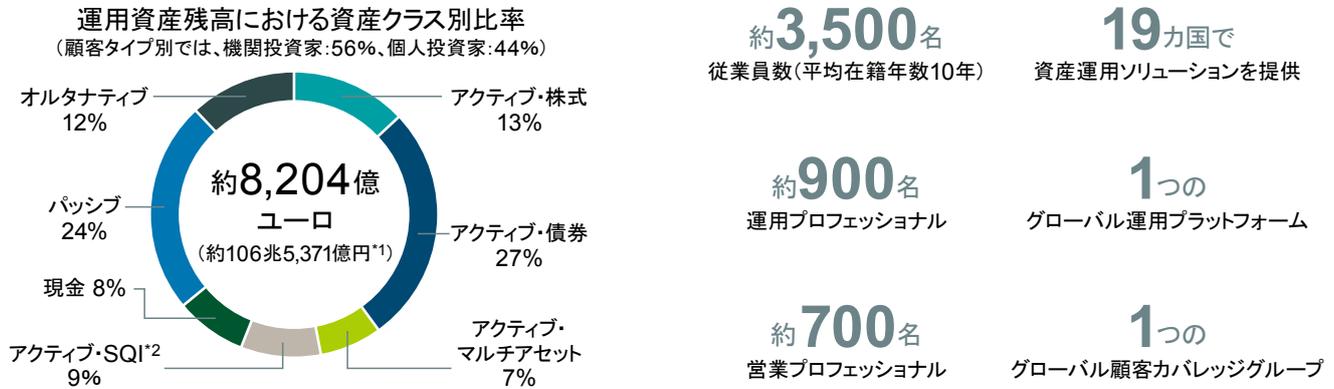
ドイツェ・アセット・マネジメント株式会社



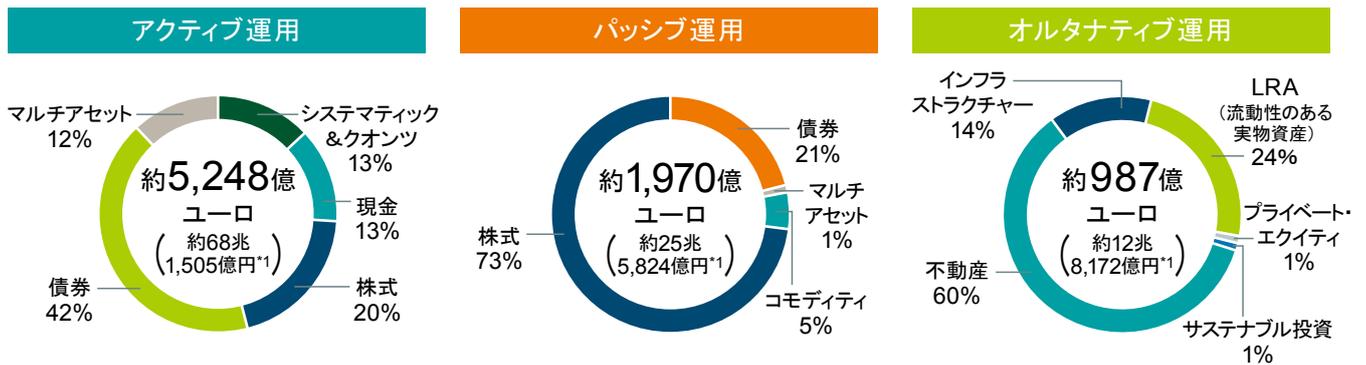
DWSグループについて

DWSグループは、1956年にドイツで設立され、約8,204億ユーロの運用資産残高を誇る世界有数の資産運用会社です。長年の運用実績を有し、ドイツ及びヨーロッパ各地において優れた運用体制への評価を確立してきました。そして現在、DWSは世界のお客さまから、資産運用のあらゆる分野における総合的なソリューション、持続性及び革新性を提供する運用会社として信頼を集めています。

資産運用業界における主要プレイヤーとして多様なビジネスを展開



主要な資産クラスをカバー 運用資産残高における資産クラス別比率



DWSのESG投資ソリューション - サステナブルな未来への貢献

運用プラットフォームにESGを統合し、アクティブ・パッシブ・オルタナティブを網羅するESG投資ソリューションを推進しています。



黎明期の2008年に国連の責任投資原則(PRI)へ署名



ESGテーマ別リサーチ
最重要テーマの分析および評価、ESGメガトレンドの発見、投資効果の評価



サステナビリティ関連の学術研究に関する包括的な評価において主導的役割を果たし、国連PRI等に最も引用される研究成果を発表⁴



責任投資CIOの任命
運用プロセスにおけるESGインテグレーションを包括的に管理¹



のべ2,500回におよぶ会社訪問
責任投資におけるリスクと機会に関して独自性と先見性のある見解を有する



過去5年間の米国企業の議決権行使において、ESG関連の株主提案への賛同が業界最高との評価⁵



独自のESGデータ分析
10,000社超・のべ3,500万超のデータ項目へのアクセスを可能とする独自のデータ分析ツールを有し、運用プロセスへと完全統合



グローバルに120名を超えるESG投資の専門家²を擁する



2019年のグローバル企業の議決権行使において、気候変動対策の株主提案に対する賛同数⁶で世界トップ10にランクイン

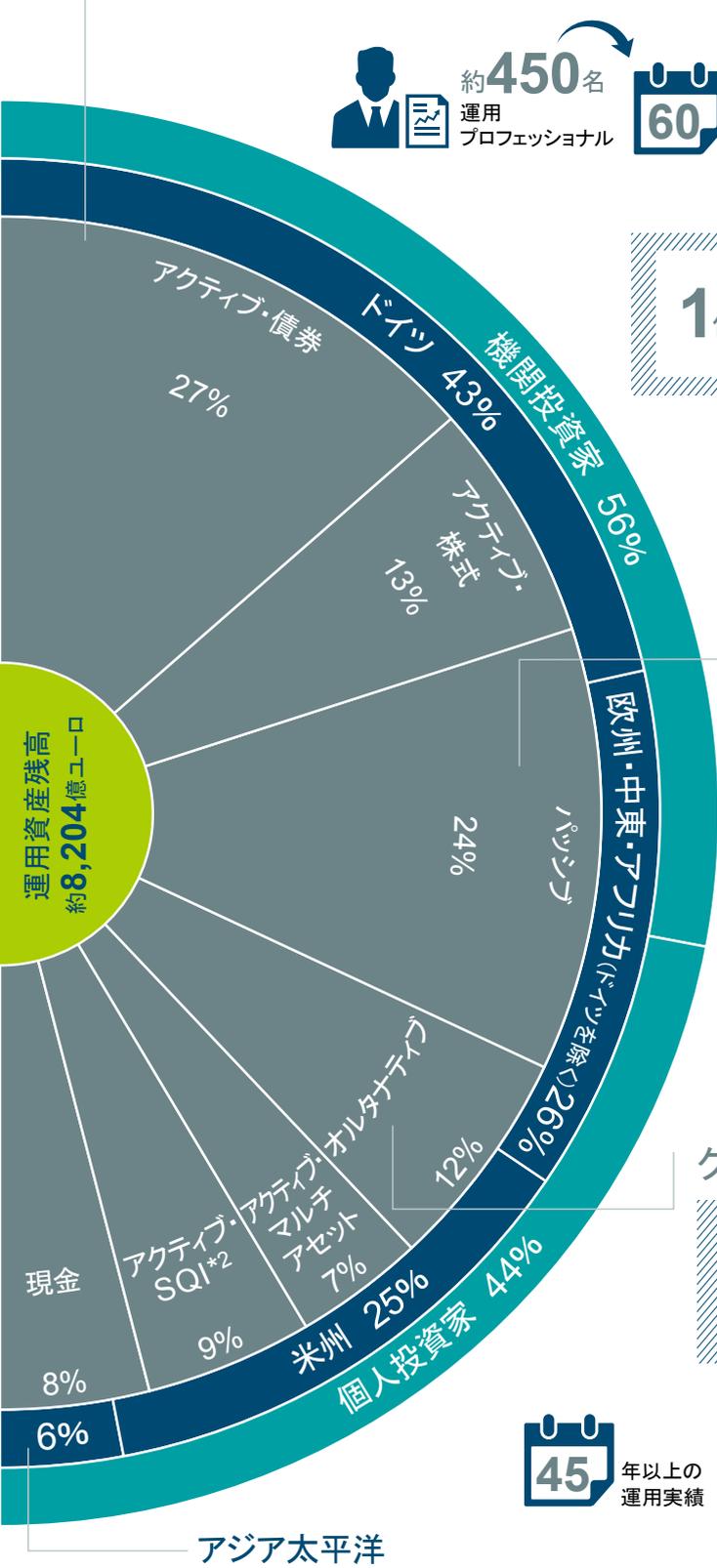


「Responsible Investor of the Year 2019 UK & Europe」を獲得³

¹サステナビリティ・オフィス責任者を兼任 ²認定ESGアナリスト2名、2020年1月時点、出所:DWSインターナショナルGmbH ³「Insurance AssetRiskAward2019」 <https://www.insuranceassetrisk.com/content/galleries/insurance-asset-risk-awards-2019-uk-and-europe/responsible-investor-of-the-year-manager-dws.html> ⁴Friede、BuschおよびBassenによる共同研究「Digging deeper into the ESG - Corporate Financial Performance Relationship (2018年)」 ⁵モーニングスター調査「How fund families support ESG-related shareholder proposals (2020年2月)」。DWSは、5年間の全期間においてESG関連の株主提案を最も頻繁に支持し、全998の投票権の89%で議決権を行使。 ⁶ShareAction発行「Voting Matters(2019年4月)」
出所:DWSインターナショナルGmbH、2020年3月末時点

DWSの強み

DWSのルーツであるアクティブ運用



運用資産残高



125本
モーニングスター社の
4つ星/5つ星獲得
ファンド数^{*4}

1位
ドイツにおける
個人投資家向け
投資信託^{*5}



27%
ドイツにおける
個人投資家向け
投資信託の
市場シェア^{*5}



強固な基盤を持つパッシブ運用



2位
欧州における
ETF/ETP
プロバイダー^{*6}



運用資産残高



65本
モーニングスター社の
4つ星/5つ星獲得
ファンド数^{*4}

グローバルに展開するオルタナティブ運用



“商業不動産最優秀アセットマネジャー賞”
Scopeオルタナティブ投資アワード2020

運用資産残高



約60%

GRESB^{*7}にて「Green Star」評価を
取得した不動産投資の割合
(運用資産残高ベース、2017年)

アジア太平洋

出所:DWS、2021年3月末時点

^{*1} DWS、2021年3月末時点、換算レート:1ユーロ=129.86円/億円未満四捨五入、四捨五入の関係で合計が一致しない場合があります。^{*2} システマティック&クオンツ運用、^{*3} DWS独自の調査による、2020年3月時点、^{*4} モーニングスター、2021年3月時点、マルチアセットのファンドを含む、^{*5} ドイツ投資信託協会、運用資産残高ベース、2021年2月時点、^{*6} ETFGI Global ETF and ETP industry insights、運用資産残高ベース、2021年3月時点、^{*7} Global Real Estate Sustainability Benchmark(グローバル不動産サステナビリティ・ベンチマーク)

©2021 Morningstar, Inc. 著作権等の知的所有権その他一切の権利は、Morningstar社および/またはライセンス提供を行う情報提供者に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。なお、情報の正確性、完全性等について保証するものではありません。この情報を使用したことにより損害や損失を被った場合でも、Morningstar社および/またはライセンス提供を行う情報提供者は一切の責任を負いません。過去の運用実績は、将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社 概要

DWSグループの日本拠点

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社は、DWSグループの日本における拠点であり、投資信託ビジネス・機関投資家向け運用ソリューションの提供における長年の経験、ノウハウ及び実績を有します。グローバルな運用体制と独自の洞察力を駆使した質の高いサービスをご提供するとともに、日本市場の資産運用ニーズに的確にお応えすることを目指します。

日本のお客様向け運用資産残高^{*1}



^{*1} 2021年3月末時点 / 金額は億円未満四捨五入

^{*2} DWSグループの海外関係会社が投資信託等を通じて運用サービスを提供しているものうち、当社が投資運用業に付随する業務としてサポートを行っている運用サービスの残高を含む

社名	ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
代表者	代表取締役社長 石谷 洋章
本社所在地	〒100-6173 東京都千代田区永田町2丁目11番1号 山王パークタワー
設立	1985年7月8日
資本金	30億7,800万円
業務内容	投資運用業、投資助言・代理業、 第二種金融商品取引業、 第一種金融商品取引業
役員数 ^{*1}	83人(兼務役員・長期契約を含む、派遣社員は除く)
金融商品取引業者の登録番号	関東財務局長(金商)第359号
加入協会	日本証券業協会、 一般社団法人投資信託協会、 一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

沿革

- 1985年 モルガン グレンフェル インターナショナル アセット マネジメント(株)設立
- 1987年 投資顧問業登録、投資一任業務認可取得
- 1990年 ドイツ銀投資顧問(株)と合併し、ディービー モルガン グレンフェル アセット マネジメント(株)に社名を変更
- 1995年 ディービー モルガン グレンフェル 投信投資顧問(株)に社名を変更。証券投資信託委託会社免許取得
- 1996年 ドイチェ・モルガン・グレンフェル 投信投資顧問(株)に社名を変更
- 1999年 バンカース・トラスト 投信投資顧問(株)と合併し、ドイチェ・アセット・マネジメント(株)に社名を変更
- 2002年 チューリッヒ・スカダー 投資顧問(株)と合併
- 2005年 ドイチェ・アセット・マネジメント(株)とドイチェ信託銀行(株)の資産運用サービス業務を統合
資産運用部門はドイチェ・アセット・マネジメント(株)に一本化

ご留意事項

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の投資商品の推奨や投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。当資料記載の内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。

●ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社の投資信託ビジネスについて

《リスク》 投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。したがってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

《費用》【お申込みいただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。】 ■ 購入時に直接ご負担いただく費用: 購入時手数料 上限3.85%(税抜3.50%) ■ 換金時に直接ご負担いただく費用: 信託財産留保額 上限0.5% ■ 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用: 運用管理費用(信託報酬) 上限2.068%(税抜1.88%) ■ その他費用: 上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

《ご注意》 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託の運用による損益は、すべて受益者に帰属します。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。なお、当社では投資信託の直接の販売は行っておりませんので、実際のお申込みにあたっては、各投資信託取扱いの販売会社にお問合せ下さい。

●ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社の機関投資家向けビジネスについて

投資一任契約に基づく運用については、主として株式、債券、投資信託証券等の値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、元本は保証されるものではなく、元本を割り込むことがあります。また、運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属します。なお、リスクの要因については、投資対象資産の種類、投資制限、取引市場、投資対象国等により異なります。当社がお客様と投資一任契約を締結し、資産運用サービスを提供する場合、投資顧問報酬の他、組入れ資産の売買手数料、保管費用等をお客様にご負担いただきます。これらの手数料等は契約内容、契約資産の額、運用手法、運用状況等により異なるため、その料率やその上限額、合計額等を表示することはできません。ご契約にあたっては、契約締結前書面等をお渡しいたしますので、ご契約前によくお読み下さい。